

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

## ② 施設・事業所情報

名称：横浜市中川西保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：清水千穂子	定員（利用人数）：122（119）名
所在地：〒224-0001 横浜市都筑区中川3-6-6	
TEL：045-913-2060	ホームページ：無し
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 1997年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：横浜市	
職員数	常勤職員： 25名 非常勤職員 30名
専門職員	園長 1名 調理員 4名
	主任 1名 子育て支援員 3名
	保育士 40名
施設・設備 の概要	乳児室（0～2歳児室） 3室 予備室 1室
	幼児室（3～5歳児室） 3室 鉄筋コンクリート造り 2階建て
	ホール 1室 建物床面積：892.78㎡
	調理室 1室
	トイレ 5室 園庭 1997.62㎡
	事務室 1室
	職員休憩室 1室
	地域子育て支援室 1室

## ③ 理念・基本方針

## 【保育理念】

児童が心身ともに健やかに生まれ、且つ育成されるように努める  
～すべての子どもが自分を「かけがえのない存在」と感じ、  
自信をもって生きていかれるように～

## 【保育方針】

- ・子ども一人ひとりを大切に保育を実施します
- ・子どもの気持ちに共感する保育を実施します
- ・健康的で安全な環境の下で保育を実施します
- ・豊かな情操が生まれるような環境のもとで保育を実施します
- ・家庭や地域と連携を持ち、開かれた保育を目指します

## ④ 施設・事業所の特徴的な取組

## 【立地および施設の概要】

横浜市中川西保育園は、横浜市営地下鉄ブルーライン中川駅から徒歩7分の、閑静な住宅街にあります。中川西地区センター、中川西中学校、竹林と広葉樹が美しい里山の烏山公園が近く、安全に散歩のできる緑道に面して在り、身近に自然に触れられる環境です。園庭には、さくらんぼ、きいちご、りんご、どんぐり、やまもも等、ク

ラス名になっている実のなる木や四季折々の植栽があります。0歳から5歳まで、119名が在籍しています。

【園の特徴】

園目標に「たのしくあそべるほいくえん」を掲げ、子どもの遊びが豊かに広がる働きかけに努めています。都筑区では、「つみきのつづき」をキャッチフレーズとして、積木の楽しさを伝える取組を進めており、園でも大量の積み木を備え、帽子をかぶって靴下を履くなど、安全に配慮してホール等の広いスペースでダイナミックに遊べるようにしています。

近隣の公園に散歩に行った時は、どんぐりや枯れ葉、枝を集めて製作や遊びにつなげています。カイコ、クワガタ、カブトムシ、かたつむり等を飼育し、生き物に触れる機会を持っています。菜の花やトウモロコシ、稲やゴマを栽培して、食育活動も盛んです。

園は都筑区にある公立4園の一つで、育児相談、育児講座、給食体験・離乳食体験、一時保育、出前保育、交流保育、園庭開放等を行うほか、ネットワーク会議に出席して、保育施設全体の保育の質の向上に取り組む役割を担っています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年4月25日（契約日）～ 2023年2月27日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2016年度）

⑥ 総評

⑦

◇特長や今後期待される点

1. 豊かに展開する子どもの遊びの環境づくり

保育室の天井から吊るしたゆらゆらと揺れるモビールを見て気分転換したり、窓辺にステンドカラーシートを貼って差し込む光の揺らぎを楽しめるようにするなど、子どもが身近な事象に興味を持てる環境づくりをしています。

手づくりおもちゃは、様々な布の感触が楽しめて、触るとカシャカシャと音がします。大きな密閉袋に、夏は水を入れてウォーターベッドにしたり、秋には枯れ葉を詰めてクッションにしています。どんぐりとペットボトルでマラカスを作り、職員のギターに合わせて歌をうたったりしています。

5歳児は育てたカイコの繭でコサージュを作って卒園式に胸に付けます。JAの方の指導を受けて稲を栽培しています。脱穀し、栽培したゴマと合わせておにぎりを作ったり、藁をしめ縄にしたりしています。

2. 保育を可視化する取組の深化と活用

職員が円滑にコミュニケーションをとりながら保育観や事例を話し、保育を視覚的に捉えて保育を振り返り、保育の質の向上を目指しています。

毎月の職員会議では月間指導計画の内容を話し合い、その過程を蜘蛛の巣状の図式にして紙面にし、プロジェクターを用いて職員間で共有しています。子どもの育ちの過程と育みたい方向性が職員間で共通認識でき、意見交換をしながら、評価・見直しにつなげています。

また、子どもたちが遊びに取り組む様子を写真とコメントにして保育を「見える化」し、コロナ禍の中で、子どもたちの日々の姿を保護者に伝え、クラス懇談会をオ

オンラインで行って、保護者とも子どもの育ちを共有しています。

### 3. 職員が主体的に取り組む園内研修

やってみたい活動を職員同士で呼びかけて取り組む、「わくわく保育宣言」活動を園内研修として行って、全職員がそれぞれ学びたい研修に主体的に参加しています。

職場の風通しをよくする「風の会」、経験の浅い職員の語り場「ひよこの会」、動植物お世話担当「いきものがかり」、職員の情報ツール「なかにし新聞」などの活動があり、園内を巻き込むように行われています。

「風の会」では、働きやすい職場や語りたい園づくりを目指し、職員同士の関わりを大切にしています。職場の課題について、廊下に掲示して職員の意見を付箋で集めています。「なかにし新聞」は都筑区内公立4園の学び合いの会の報告をするなどして、他園の良い取組を紹介し、得られた気づきを掲載しています。

職員が主体的に取り組む、自分の強みを発揮できる場となっています。

### 4. 保護者の相談や意向を集め保育に反映する取組

意見箱「ちょっときいてねbox」を備え付け、匿名でも苦情・相談を受け付けるなど相談しやすい体制を整備しています。懇談会を年2回、個人面談を年1回行っていますが、そのほか希望者には随時プチ面談を行うことを、年度始めに保護者に伝えています。面談よりも心理的な抵抗がなく気軽な相談ができ、職員が保護者に確認したいことがある時なども、構えず行うことができます。

また、2か月ごとの保護者会（役員会）に園長が出席し、保護者の声を直接受け止め、改善に向けて職員間で共有し保護者満足度の向上に取り組んでいます。

### 5. 全職員でのマニュアルの確認

マニュアルは事務室にあり、各クラスに午睡チェック、オムツの替え方、プール遊び、散歩、下痢便・吐物処理、アレルギー除去食、与薬手順書等の手順書を置いて、職員が必要な時はすぐに確認ができるようにしています。一部、手順書通りの対応が見られない場面が見られました。マニュアル通りの対応ができているか、全職員で確認し合うことが望まれます。

## ⑧ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

### コメント

第三者評価受審にあたり、園の自己評価をもとに評価項目ごとに話し合いを進めてきました。保育園を取り巻く環境の変化に伴い新たな課題が出てきたところもあり、改善策を検討していく中で、一人ひとりの捉え方の違いにも気づくことができました。保育者は常に保育の質の向上に努力が望まれます。保育を振り返り、職員間での共通認識を確認する場にもなりました。

様々な経験は子どもにとって大きな意味があり、保育者の援助や言葉かけ一つ一つによって成長しています。その意味や根拠をさらに深めて話し合う中で、子どもたちにとって大切なことは様々な環境と、わくわくする体験であることを確認しました。子どもたちの健やかな成長と発達、何よりも大きな喜びです。これからも子どもたちが安心して自己発揮していけるような園づくりに力を注いでいこうと考えます。評価機関の方からも参考となるご意見をいただきました。保育や園運営に活かし、保育の質の向上に努めてまいります。子どもたちにも保護者の方々にも頼りになる保育園に、そして地域の方々にも愛される保育園になるように、全職員で力を合わせてまい

ります。

第三者評価をしていただきました評価機関の皆様には、中川西保育園の取り組みを温かく受け止めていただき、保育者と子どもたちの姿をしっかりと捉えて評価していただいたことを心より感謝いたします。ありがとうございました。

清水千穂子

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり